

※参 考

【本協定について】

名称：産学連携に関する基本協定書

目的：自らの社会的存在意義とその使命を深く自覚し、それぞれが有する人的・物的資源を有効に活用して、社会に貢献する。

【日本電気株式会社（NEC）について】

本社所在地：東京都港区芝五丁目7番1号

創立：1899年(明治32年)7月17日

事業概要：パブリック事業、エンタープライズ事業、ネットワークサービス事業、システムプラットフォーム事業、グローバル事業

【NEC アカデミー for AI について】

2019年4月開講。社会人や大学生を対象とし、「学び」と「実践」の場を通してプロフェッショナルなAI人材を育成。実践経験を通してAI人材としての独り立ちを目指す「入学コース」（1年・昼間通学制）、AI人材に必要な知識を選んで習得できる「オープンコース」の2コースを提供。これまでの受講実績は約4,000人。

URL：<https://jpn.nec.com/nec-academy/>

【横浜市立大学 データサイエンス推進センターについて】

2017年4月設置。データサイエンスに関する産学官連携などの社会連携を積極的に推進するために、企業開拓等の活動を強化。センター長(学長補佐)の山中竹春教授が、2020年4月に設置予定のデータサイエンス研究科長兼ヘルスデータサイエンス専攻長に就任予定。

【WiDS TOKYO @ Yokohama City University について】

WiDS(Women in Data Science)とは、米国スタンフォード大学 Institute for Computational & Mathematical Engineering (ICME) が主唱する世界的なプロジェクトで、女性を中心にデータサイエンスに関するさまざまな意見・経験等を共有し、この領域に男女を問わず多くの人材を誘致する活動。日本でも2018年度よりこの活動が広がり、横浜市立大学は産学官の連携を得て「WiDS TOKYO @ Yokohama City University」を主催。今年度は2020年3月18日(水)に東京・港区で第2回目となるシンポジウムを開催予定。専用WebサイトURL:<https://wids-ycu.jp>

【横浜市立大学データサイエンス学部/研究科について】

《データサイエンス学部》

2018年4月設置。首都圏初のデータサイエンス学部として、データから新たな社会的価値を創造できる人材を育成する。現場重視を特色に掲げ、データが生まれる企業や自治体などの「現場」における実践的な学びの機会を数多く提供。

《データサイエンス研究科》

2020年4月設置予定。データサイエンス専攻、ヘルスデータサイエンス専攻の2専攻からなり、社会実装できる高度なデータサイエンス人材を育成。特に医学部を有する総合大学としての強みを生かしたヘルスデータサイエンス専攻では、予防・医療・介護のヘルス分野で、データをもとに政策決定のできる実践的人材の育成に着手する予定。

【横浜市立大学データサイエンス分野における企業等との協定締結実績】

協定を締結した日付	企業等名称(締結日順・五十音順)	協定名称
2018年3月29日	株式会社インテージホールディングス	産学連携に関する基本協定書
	サントリー MONOZUKURI エキスパート株式会社	産学連携に関する基本協定書
	株式会社マイナビ	産学連携に関する基本協定書
2018年5月22日	横浜市	データ活用に関する包括連携協定
2018年6月13日	全日空商事株式会社	産学連携に関する基本協定書
2018年7月11日	株式会社帝国データバンク	産学連携に関する基本協定書
2018年7月25日	株式会社マクロミル	産学連携に関する基本協定書
2018年7月31日	横浜市 日本電信電話株式会社（三者協定）	官民データ活用による超スマート社会の実現に関する包括連携協定
2018年11月27日	日産自動車株式会社	産学連携に関する基本協定書
2019年7月11日	株式会社ブロードリーフ	産学連携に関する基本協定書
2019年11月15日	エーザイ株式会社	産学連携に関する基本協定書
2019年12月10日	Vpon JAPAN 株式会社	産学連携に関する基本協定書